

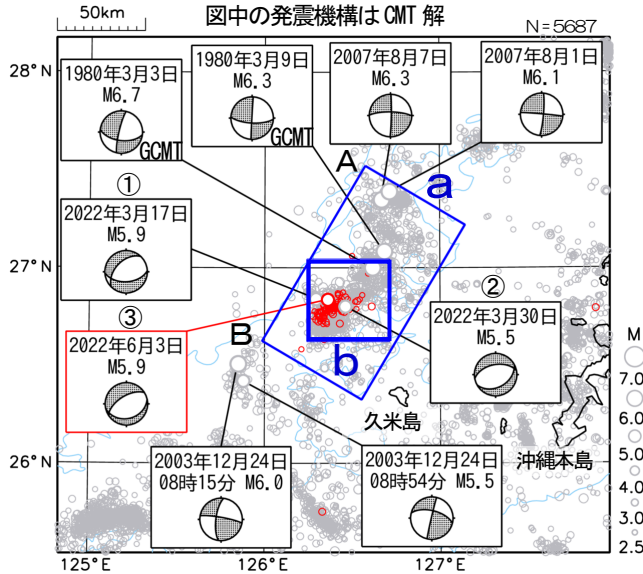
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図

(1980 年 1 月 1 日～2022 年 6 月 30 日、
深さ 0km～60km、 $M \geq 2.5$)

2022 年 6 月以降の地震を赤色で表示

図中の発震機構は CMT 解

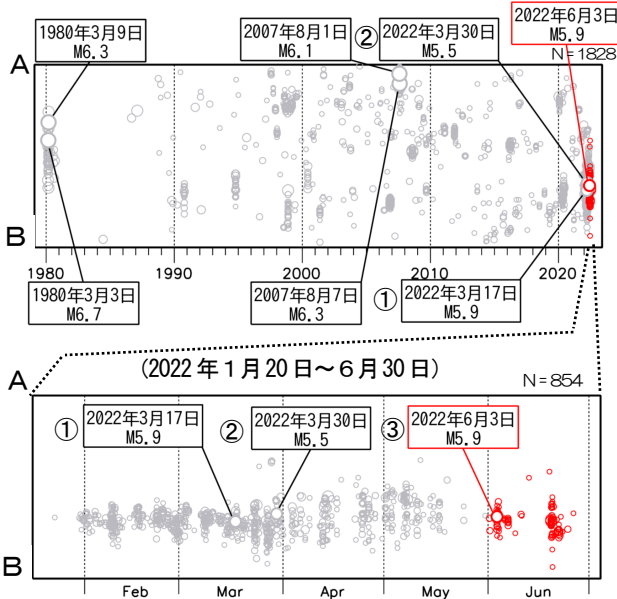


図中の青色の等値線は水深 1500m を示す。

※1980 年 3 月 3 日および 3 月 9 日の地震の発震機構は Global CMT

領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)

(1980 年 1 月 1 日～2022 年 6 月 30 日)

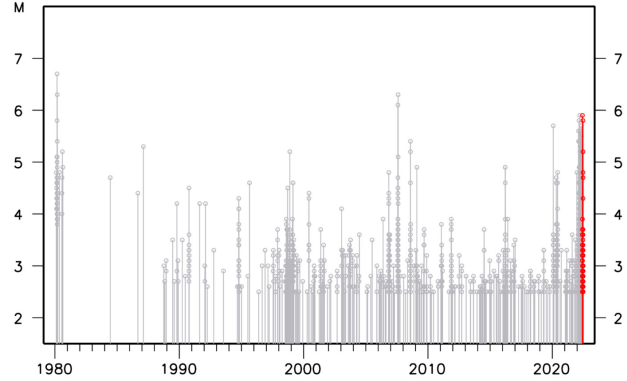


沖縄本島北西沖では、2022 年 1 月 30 日から地震活動が活発になり、6 月中もその傾向は継続している。この地震活動により、6 月に震度 1 以上を観測する地震が 12 回 (震度 2 : 4 回、震度 1 : 8 回) 発生した。2022 年 6 月中の最大規模の地震は、3 日 16 時 03 分に発生した M5.9 の地震 (最大震度 2、図中③) であった。この地震の発震機構 (CMT 解) は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

活動の全期間を通じて、最大規模の地震は M5.9 の地震 (3 月 17 日 (最大震度 2、図中①) 及び 6 月 3 日 (最大震度 2、図中③))、最大震度を観測した地震は 3 月 30 日の M5.5 の地震 (最大震度 3、図中②) であった。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

1980 年 1 月以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域 a) では、M5.0 以上を最大規模とした地震活動が時々みられる。1980 年 2 月から 3 月にかけて活発化した際には、同年 3 月 3 日に M6.7 の地震 (最大震度 3) が発生した。

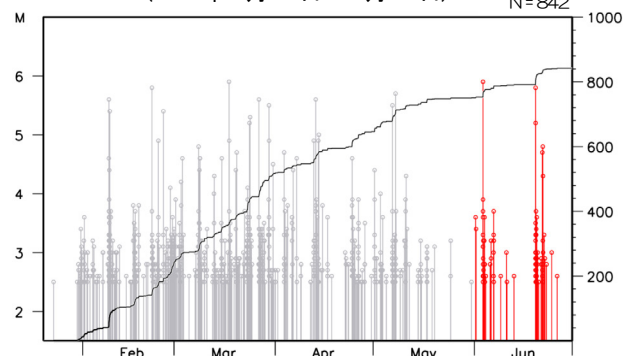
領域 a 内の M-T 図



(この期間の検知能力は低い)

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

(2022 年 1 月 20 日～6 月 30 日)



震度 1 以上の最大震度別地震回数表

(2022 年 1 月 30 日～2022 年 6 月 30 日)

月別	最大震度別回数			震度 1 以上を 観測した回数	
	震度 1	震度 2	震度 3	回数	累計
1月30、31日	0	0	0	0	0
2月1日～28日	8	5	0	13	13
3月1日～31日	9	7	1	17	30
4月1日～30日	12	4	0	16	46
5月1日～31日	0	2	0	2	48
6月1日～30日	8	4	0	12	60
総計	37	22	1		60

震度 1 以上の日別最大震度別地震回数図

(2022 年 1 月 30 日～2022 年 6 月 30 日)

